

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

かみかわ町議会だより



表紙席順



14名の新議員決まる。

神川町議会は平成27年4月29日の議員任期満了に伴い、30日から新体制による4年間の活動がスタートしました。町の発展のため、全力で議会活動を推進します。なお、今回の改選により7名の新議員が誕生しました。

<主な内容>

■【平成27年3月定例会】

平成27年度神川町一般会計及び特別会計等当初予算の可決他

■【平成27年4月臨時会】

新しい議会構成が決まりました。

第38号

平成27年6月1日発行

議会を傍聴しませんか

第3回定例会は6月9日(火) [午前9時～] 一般質問等から17日(水)を予定しています。

編集 神川町議会運営委員会
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
☎0495(77)0707 <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

住み良いまちづくりを目指し、 皆様の代表として働きます。

議長就任あいさつ

小井戸 英夫

昭和24年10月22日生



職業 農業
党派 無所属 3回当選
住所 神川町大字小浜575番地

この度、4月30日の臨時会におきまして神川町議会議長の要職に就くことになりました。身に余る光栄でありますと共に、あらためてその責任の重大さを痛感しています。本年は新生神川町が合併10周年の節目を迎えるとともに、地方創生に伴う地方版総合戦略の策定や老朽化した公共施設などの課題もあり、議会としましては、これらの解決のため真正面から向き合っており、考えています。今後とも、町民皆様の代表として、「誰もが住み良くなるまち」を目指し、皆様から信頼される議会となるよう努力してまいります。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

副議長就任あいさつ

赤羽 奈保子

昭和42年11月11日生



職業 無職
党派 公明党 2回当選
住所 神川町大字元原86番地8

この度、議員皆様方の温かいご推挙によりまして、副議長の要職に就任させていただくことになりました。今は責任の重大さに身の引き締まる思いです。微力ではありますが、町政発展のため、議長を補佐し、また信頼される議会を目指し、皆さんとともに全力で頑張りたいと思います。今後とも、町民皆様の暖かいご支援、ご指導をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

福島 康弘

昭和40年8月19日生



無職
無所属 1回当選
神川町大字肥土592番地11

私は、住民皆様の代弁者である事を忘れずに、胸に刻み込み、勇気を持ち『是々非々』の精神で行動発言し、神川発展の為に全力で取り組みます。

川浦 雅子

昭和37年11月6日生



無職
日本共産党 1回当選
神川町大字肥土494番地

皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。「くらし福祉最優先の町」を目指し、住民の声がまっすぐ届く様頑張ります。地域を元気に！平和が一番！

野口 弘吉

昭和36年8月22日生



運送業
無所属 1回当選
神川町大字下阿久原317番地

ご支援賜りました皆様に心より感謝申し上げます。皆様の期待に応え、豊かな自然を活用し、住みよい神川町にする様ベストを尽くし一生懸命打ち込んで参ります。

坂本 貴佳

昭和26年4月29日生



農業
無所属 1回当選
神川町大字四軒在家241番地1

皆様のご支援を賜り、議会人として第一歩を歩むことになり大変感謝致します。今後、文教厚生常任委員として、諸問題に新人らしく元気に頑張ります。

清水 敏信

昭和26年2月15日生



自営業
無所属 1回当選
神川町大字渡瀬578番地

皆様のご支援心から感謝申し上げます。「住み続けたい町にするために」又、活気ある町づくりのために頑張りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

堀川 光宣

昭和25年7月16日生



自営業
無所属 1回当選
神川町大字中新里84番地1

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。この感謝の気持ちを持続し、皆様のご期待に応えるべく神川町発展のため、全力で取り組んで参ります。

滝沢 邦利

昭和15年4月7日生



無職

無所属 1回当選

神川町大字新里1100番地5

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。子育て世代を始め神川町のあらゆる世代が、安心して暮らしをいける町づくりのため、様々な課題に取り組んで参ります。

柴崎 愛子

昭和29年8月24日生



花・野菜の生産販売

無所属 2回当選

神川町大字新里1852番地

皆様のあつのご支援に心より感謝申し上げます。初心を忘れることなく、議員として研鑽を積み、町民の皆様のために働けるよう邁進していく所存です。

山崎 正弘

昭和31年12月22日生



無職

無所属 2回当選

神川町大字新里564番地1

お陰様で2期目の議員活動を開始することになりました。皆様と共に住民福祉の向上と神川町発展のために誠心誠意、諸課題に取り組んで参ります。

渡辺 浩一

昭和20年4月27日生



会社員

無所属 2回当選

神川町大字新宿559番地1

皆様のご支援をいただき、心から感謝申し上げます。少子化克服のための安定した家庭形成と強化を進め、住み良い神川町にしたいと思います。

廣川 学

昭和42年11月2日生



家庭教師

無所属 3回当選

神川町大字八日市825番地3

今まで通り、町民の皆様の声に基づき様々な問題に取り組んで参ります。無投票でも「良く働いた」と言っていただけの様に、初心に返り精進します。

落合 周一

昭和23年5月1日生



無職

無所属 3回当選

神川町大字関口97番地3

4年間のご支援、ご鞭撻誠に有難うございました。これからも暮らしやすい、活力のある町づくり、環境づくりのために誠心誠意頑張っていきます。

初議会のあらまし

新体制による初めての議会が4月30日に開かれ、正副議長、議会運営委員、各常任委員などの組織構成が決まりました。

議長 小井戸英夫

副議長 赤羽奈保子

総務経済常任委員会

委員長 渡辺 浩一

副委員長 野口 弘吉

委員 清水 敏信

堀川 光宣

廣川 学

落合 周一

小井戸英夫

文教厚生常任委員会

委員長 柴崎 愛子

副委員長 福島 康弘

委員 川浦 雅子

坂本 貴佳

滝沢 邦利

赤羽奈保子

山崎 正弘

議会運営委員会

委員長 山崎 正弘

副委員長 堀川 光宣

委員 川浦 雅子

柴崎 愛子

渡辺 浩一

児玉郡市広域市町村圏組合議会

議員 小井戸英夫

赤羽奈保子

議会選出監査委員

清水 敏信

臨時会のあらまし

4月30日に第2回臨時会が開かれました。

概要は次のとおりです。

○監査委員に清水敏信氏を同意

地方自治法第196条第1項に基づき同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字渡瀬578番地

昭和26年2月15日生

昭

○専決処分の承認を求めることについて

報告第1号 神川町税条例の一部を改正する条例

報告第2号 神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

報告第3号 神川町国民健康保険条例の一部を改正する条例

（審議結果） 全て全員賛成 原案承認

定例会のあらまし

平成27年第1回の神川町議会定例会は、3月3日から12日までの10日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、平成27年度に向けた条例、一般会計、特別会計等予算と陳情など44件の案件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、3月3日に行われ、6名の議員が町長をはじめ、町当局の考えを質問しました。概要は次のとおりです。



柴崎 愛子 議員

高齢者のためのコミュニティの場の確保について

◆地域の高齢者が気軽に集まれる場の提供を

町内では、11の字でサロンを開き、地域の人たちとの交流会を実施しています。しかし、月に1回の開催で、高齢者の方全員ではありません。そこで、近所のお年寄りが気軽に集まり、おしゃべりをし、変わりはなにか確認し合える場の確保策として、住宅地に近い場所にベンチ

を置くことについて伺います。

また、町内の公園、神社、お寺等の外トイレの設置とベンチの状況を調べたところ、ベンチはありましたが、外トイレはほとんどありません。これでは高齢者はそこに集まれないと思います。これらの環境整備について、大字区長の申請による助成制度を構築する予定はあるか伺います。

答え 町長

◆地元の区長や老人クラブと相談しながら検討します。

現在、町では地域の集会所や集落センターなどを利用して、対話や外出機会の少ない高齢者が、地域のボランティアなどと一緒に集まる機会として、ふれあいサロンを実施しています。また、更生保護女性会の活動の一環として、地域の公園やバス停などにベンチの設置を行い、高齢者を含めた地域住民のコミュニティの場の提供を行っています。



元阿保地内

所を確保するため、地元区長や老人クラブ会長などにご意見をいただきながら、必要性や場所等について検討をします。また、トイレの設置等についても同様な考えです。助成制度については、今後検討します。

町の活性化について

◆町と商工会の連携によるイベント等の継続について

昨年12月20日から就業改善センター前に飾られたクリスマスイルミネーションはすばらしいものでした。20日の点灯式は、小さな子供から高齢者まで幅広い年代層の人たちが集まり、多くの人に感動を与え

環境問題について



大川 喜和子 議員

◆来年度以降も連携を深め、効果的で魅力的な取り組みをします。

昨年末の商工会主催によるクリスマスイルミネーションについては、町の補助金を活用し、商工会青年部が中心となり実施されました。「神川町を元気に、町の子供たちに夢を」をテーマに、商工会青年部の皆さんと町の担当職員が、計画段階から打ち合わせ会議を行い企画しました。限られた予算の中、強い団結力と工夫により、素晴らしいイベントが実施されました。

答え 町長

ました。クリスマスには、多くのカップルがイルミネーションを見に来ており、これほど多くの若者を取り込むイベントは、他にないと思います。開催に当たり、経済観光課の職員と商工会青年部の人たちがアイデアを出し合い、何度も話し合いがされました。今後町と商工会との連携によるイルミネーションの継続や町の活性化につながるイベントの企画について伺います。



クリスマスイルミネーション

町では、今回のようなイベントは町の活性化や観光振興にもつながることから、来年度以降につきましても、商工会との連携をさらに深め、より効果的で、魅力的な取り組みを実施します。

◆町の温室効果ガス対策について

近年、地球温暖化の影響を受けて気候変動が起り、異常気象が続いています。日本だけでなく世界各地で大きな災害が多発し、犠牲になる方も多く、その被害額も膨大です。町もいつ災害に遭遇するかわかりません。この地球温暖化の原因は、温室効果ガスが大きな要因で、その中で二酸化炭素が全体の63%を占めており、その排出量削減が課題となっています。

町は昨年7月、支所に電気自動車を購入しましたが、住民のほとんどの方は知りません。購入目的は排気ガスと燃料費の削減とのことでした。町の温室効果ガス対策をきちんと周知させるべきだと思います。また、町はこの他に、どのような取り組みをしているのか伺います。

答え 町長

◆神川町環境基本計画に基づき、環境に配慮した施策を実施します。

町では、温室効果ガス対策を進めるために、神川町環境基本計画を策定し、各種の具体的行動を示しています。大気環境保全のため、行政、事業者、町民のとりべき行動を示しており、町全体で生活環境保全に取り組んでいます。

行政は、ハイブリッドカー等の購入や、職場に近い職員は徒歩や自転車での通勤、環境にやさしい運転方法の意識の徹底、また事業者の行動としては、エコカーの購入や配送の回数を少なくすること等を推奨しています。

町民の行動に関しては、近所の



電気自動車

買い物には徒歩や自転車を使用することや、個人でノーカーデーを設けること等を推奨しています。さらに、小型焼却炉の使用や、ごみ、小枝等の野外焼却の禁止等を計画に掲げています。

その他に、野外焼却等の監視パトロール、電気自動車用急速充電器の設置、アイドリングストップの推進等を行っています。

食 育 に つ い て

◆小中学校での取り組み及び食育推進計画について

以前、小学校の1年生3人と給食を一緒にいただく機会がありましたが、一人一人の「ごちそうさま」の声は聞かれませんでした。この1回の給食を共にしたこと、礼儀作法のこと、食品ロス、食べ残しのこと、特別な日の献立の話などについて考えさせられました。各学年の取り組み内容が、目標達成度をどのように把握し、判断しているのか伺います。

昨年3月議会の質問では食育計画を健康増進計画の中に含めるか、独立して作成するか検討すると答弁されました。国では平成27年度末で食育推進計画を作成、実施している市町村の割合を100%と目標を掲げています。なぜ一緒にアンケートをとらなかったのか、またそのアンケートを利用することはできないのか伺います。

答え 町長

◆女子栄養大学や食生活改善推進協議会とも協力をいたいただきながら、きめ細かな食育施策を推進します。

町では、平成27年度末を目途に食育推進計画を策定します。この計画をより実のあるものにするため、今年1月に女子栄養大学と包括連携協定を締結し、同大学の蓄積した栄養学のノウハウや、学生の柔軟な発想を、町の食育推進計

答え 教育長

◆家庭教育との連携を図り、粘り強く指導します。

画にも生かしていきます。さらに、食生活改善推進委員協議会や栄養教諭の方々にも協力を得ながら、きめ細やかな食育施策を推進します。アンケートにつきましては、平成25年12月の健康増進計画中間評価アンケート調査時には、まだ食育推進計画の策定に関する詳細が決まっておらず、実効性のあるアンケートを同時に行うことができない状況でした。

小中学校の食育に対する取り組みとしては、給食センターにおいて、栄養教諭による栄養バランスのとれた献立の作成や、地元でとれた米や野菜を使う地産地消の推進及び米飯給食の充実に努めています。また、規則正しい食事を推奨するとともに、米、野菜、梨などの農作物栽培体験を通し、食に



赤羽 奈保子 議員

関する正しい知識を身につけ、食べ物及び生産者に対する感謝の気持ちを育むことによる豊かな人間性の育成にも取り組んでいます。授業では、各学年で目標を掲げ、食の指導を行っています。給食の時間での食べ方や挨拶等については、家庭教育と連携を図り、粘り強く指導します。

災害時の医療について

◆避難所における医療について

間もなく東日本大震災発災から4年がたちます。いつ起こるかわからない災害に備えておくことは大切です。大災害では、町の病院や診療所も被災し、医師や看護師も避難することになります。もし外傷を負った方が避難してきた場合、医師や看護師がいても、治療する道具がなければ治療ができません。町には毛布や水などは備蓄されていますが、災害時用の医療器具を、各避難所に設置する考えはあるか伺います。

答え 町長

◆医療器材の設置は困難ですが、軽症者のための消毒液等は整備します。

町では、災害時の医療救護活動に関する協定を、本庄市児玉郡医師会並びに本庄市児玉郡歯科医師会と締結し、負傷の程度に応じた適切な治療が受けられるよう備えています。また、重傷者が多数発生した場合は、被災地での応急救護

活動を行う災害派遣医療チームである埼玉DMATなどの派遣が要請できます。
災害現場で軽傷者の処置に必要な一般的な消毒薬やガーゼなどの

医薬品につきましては、今後食料等の備蓄品とあわせて整備します。なお、医療器材の設置については専門性や、メンテナンス等の問題があり、非常に難しいです。

A E D について

◆コンビニや交番等への設置及び行事等への貸出しについて

町では役場や公共施設、また福祉施設等にAEDが設置されていますが、せっかくのAEDも閉館時間は使用することができません。町民の方々に身近な24時間営業のコンビニや町の各交番等に設置すれば、少しでも早く蘇生処置ができ、救命率の向上につながります。
また、大字行事等への、貸し出しについても伺います。

答え 町長

◆コンビニ等への設置及び行事等への貸出しについて検討します。

現在町内の公共施設23カ所にAEDが設置されています。ご指摘のとおり、残念ながら24時間利用可能な状態で設置されている場所はありません。今後夜間利用が可



A E D (中央公民館)

能なコンビニ等への設置については、必要性や課題等について研究します。
大字の行事等へのAEDの貸し出しについては検討します。



廣川 学 議員

町内の児童生徒に関する事項について

◆町の助成制度及び保護者負担、これからの教育について

町が行っている、園児や児童生徒等に対する補助について伺います。小学校に入り学年が進むにつれ、保護者の負担は大きくなります。その中で小学校入学の際、購入する算数セットは、3年生からほとんど使わなくなります。この算数セットを学校に寄附していただきそれを利用すれば、保護者にとっても負担がとて軽くなります。
また、町では教育をどのように捉えているのか、子供たちの未来についてどのように考えているのか伺います。

答え 町長

◆引き続き助成を行い教育環境整備にも努めます。

町の児童への助成は、中学生以下の医療費無料化、就学援助費、第3子以降給食費免除、通学費補助、ヘルメット購入一部補助金等があります。

就学援助の支給対象は、学用品費、学校給食費、修学旅行費等です。第3子給食費免除は、一定の条件を満たす保護者に対しての免除制度です。

通学費補助は、遠距離通学児童生徒を対象に、バス料金、タクシー料金、自転車購入費補助等を行うものです。ヘルメット補助購入費一部助成は、小中学校の新入生を対象に行っています。また、今後も教育環境の整備に努めます。

答え 教育長

◆各種事業を継続し、算数セツトの有効活用は各学校で判断します。

平成25年度より、町長の出前授業と中学生議会を実施し、平成26年度は夢と希望を語る集い、いわゆる2分の1成人式を実施しました。その目的は子供たちに志を立てる立志の心を育てるといいう狙いです。来年度も引き続きこれらの事業を実施します。

次に、小学校で使用する算数セツトは、神泉小学校と渡瀬小学校は家庭から学校へ寄贈され、学習備品として使用しており、他の

小学校2校は、個人で毎年購入しています。4つの小学校はそれぞれの学校の規模が違います。ご質問の内容を小学校に伝え、そうした中で各小学校での判断で対応します。



2分の1成人式

落合周一 議員

神川町の交通安全対策について

◆現状と施策及び飛び出し注意看板の設置について

町では交通安全のために事故なしキャンペーンや定期的な啓蒙を行い、住民に対する安全指導を行っています。また、小学生の主な通学路には、グリーンベルトによる通学の安全確保も少しずつ前進してい

答え 町長

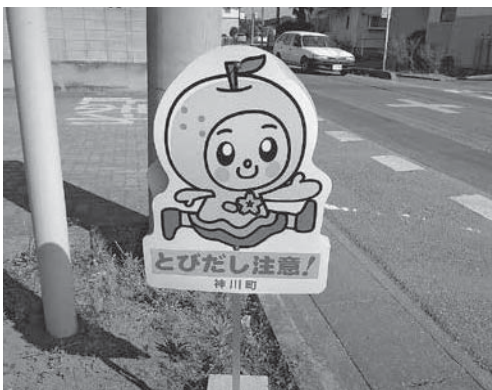
◆今後の交通安全対策や看板は警察や町民の意見を聞き検討します。

町では、季節ごとの交通安全街頭キャンペーンや事故なしキャンペーンを実施しています。幼稚園、各小中学校では交通安全教室を実施し、街頭立哨指導も行っています。

今後の取り組みは、警察、町民と意見交換を行い、より効果的な取り組みをします。

なっちゃんの飛び出し注意看板の設置場所は、各小学校長に通学路の危険箇所における設置要望を伺いました。しかし、道幅が狭く、歩行者、車両ともに通行上支障が出るおそれのある交差点が多く、現在は緑道や小学校の出入口付近を中心に設置しています。今後は、行政区長、児玉警察署、関係部局と協議します。

ます。現在及び新たな交通安全対策について伺います。
なっちゃんの飛び出し注意看板についてせっかく取りつけた看板が、バスが外れてしまうなどいろいろな不都合や欠陥が見えてきました。設置場所も小学校の入口付近と緑道にしかなく、多くの改善点があります。町内の危険な場所に、もっと多く設置すべきと思います。また、設置方法について伺います。



なっちゃん飛び出し注意看板



事故なしキャンペーン

国保診療所の運営について

◆ジェネリック医薬品及びこれからの診療所のあり方について

町の国民健康保険診療所のほとんどの通院者が、先発医薬品を使っているのは問題だと思っています。

ジェネリック医薬品を使うには医師の許可、承認が必要で、患者が勝手に後発医薬品に変更することはできません。国保診療所の場合、可能な限り研究をして、ジェネリック医薬品を使うように指導、命令ができると思いますが伺います。

次に、現診療所は既に39年を経過し、施設の老朽化も進み、また耐震診断も実施していません。診療所の受診者数は年々減少し、経営的にも赤字状態が続いています。町はこの状態を打破すべく、神川町国保診療所のあり方検討委員会を立ち上げ検討を進め、昨年10月に7項目の提言をまとめました。

これらの提言を受け、町は現在どのような取り組みをし、その実現に向けて検討しているのか伺います。

答え 町長

◆ジェネリック医薬品は診療所で検討し、診療所のあり方については、プロジェクトチームが中心となり検討します。

診療所のジェネリック医薬品の推奨については、医師が患者さん

の症状に合わせ、最も適切と判断される薬を処方しています。今後、この件は診療所の医師に伝えます。昨年10月に提出された提言書では、一般診療の継続や予防在宅医療、生活支援サービス機能の集約化などの提言がありました。また、町のプロジェクトチームにおいて、診療所を取り巻く状況、保健センターや包括支援センターなどの機能の集約化について、実務面から検討しています。

診療所の今後のあり方については、児玉郡市医師会や県の動向を勘案し、慎重に検討します。



渡辺 浩一 議員

まちづくりについて

◆地方創生策として町はどのような事業を考えているのか

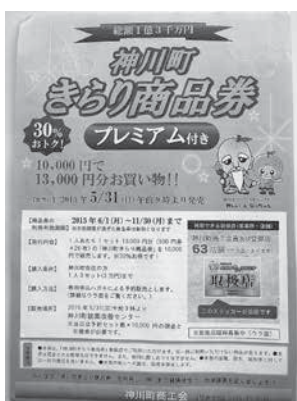
国の地方創生の取り組みが始まりました。これからは、行政の質を高め、分析力、企画力、協力、実行力が求められています。町では、国の地方創生にあわせ、これからのまちづくりのための計画策定体制をどのようにして立ち上げ、どのような事業に取り組みのか伺います。

答え 町長

◆総合戦略推進本部を立ち上げ、素案の策定に取り組みます

昨年11月にまち・ひと・しごと創生法が公布施行され、市町村はまち・ひと・しごと創生総合戦略を定めるよう努めなければならなるとされました。これを受け、町では本部を立ち上げ、総合戦略の素案策定の準備を進めています。事業としては、プレミアム付商品券の発行、総合戦略策定事業、観光プロモーション事業、買い物等

支援事業など7事業を予定しています。今後は、神川町総合計画審議会を中心に、さまざまな立場の方々からご意見をいただき、議論を重ね、より効果の期待できる計画を策定し、実施します。



プレミアム付商品券チラシ

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

議案審議の結果

3月定例会は、副町長人事案件の同意や平成27年度一般会計・特別会計等の予算、平成26年度一般会計・特別会計等の補正予算、条例の改正、などが審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

人事関係

◎副町長に古平 渉氏を同意

島田前副町長の任期満了に伴い、町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

熊谷市久下4丁目57
昭和40年7月2日生

◎教育委員会委員に古川征治氏を同意

前任の曾根吉穂氏の任期満了に伴い、町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字新里2619番地2
昭和16年12月20日生

◎固定資産評価審査委員会委員に3氏を同意

3氏の任期満了（茂木美知子氏は退任）に伴い、町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

小島健司氏

下阿久原1106番地
昭和26年6月20日生

栗本 襄氏

新宿465番地1
昭和19年5月22日生

設楽弘文氏

原新田1109番地1
昭和22年11月14日生

予算関係

◎平成27年度神川町一般会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ57億9,000万円と定めるもの。
詳しくは、広報4月号をご覧ください。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町国民健康保険特別会計予算

事業勘定は歳入歳出それぞれ19億4,800万円、施設勘定は歳入歳出それぞれ1億2,854万7千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町後期高齢者医療特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ1億1,147万2千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町介護保険特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ9億8,846万円と定めるもの。
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町住宅資金貸付事業特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ111万2千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町営バス事業特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ943万4千円と定めるもの。
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町観光事業特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ4,579万2千円と定めるもの。
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町公共下水道事業特別会計予算

予算の総額を歳入歳出それぞれ1億7,201万2千円と定めるもの。
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町水道事業会計予算

第3条予算の水道事業収益を3億2,400万1千円、水道事業費用を2億9,923万1千円と定め、第4条予算の資本的収入を83万2千円、資本的支出を1億915万5千円と定めるもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれ3,330万2千円を減額し、総額を66億3,976万3千円とするもの。
○歳入に追加（減額）された主な項目

町税 4,500万円

地方交付税 252万円

国庫支出金 3,426万6千円

県支出金 3,496万9千円

財産収入 864万円

繰入金 1億1,746万3千円

繰越金 1億2,731万5千円

諸収入 518万9千円

町債 1億380万円

○歳出に追加（減額）された主な項目

〔総務費〕 2億8,690万5千円

〔民生費〕 1億6,147万1千円

〔衛生費〕 1,906万4千円

〔農林水産業費〕 4,789万円

〔商工費〕 3,09万3千円

〔土木費〕 7,465万8千円

〔消防費〕 971万8千円

〔教育費〕 5,056万5千円

〔公債費〕 6万6千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出それぞれ374万円を

条例関係

件 名	内 容
神川町町長の給与の特例に関する条例	神川町特別職報酬審議会の答申に基づき給料及び期末手当の額を減額するもの。
神川町保育料の徴収に関する条例	子ども・子育て関連3法の制定に伴い所要の改正を行うもの。
神川町保育所条例の一部を改正する条例	丹荘保育所及び青柳保育所の収容定員の拡大を図るもの。
神川町執行機関の附属機関に関する条例の一部を改正する条例	まち・ひと・しごと創生法の施行に伴い、地方版総合戦略の策定について、総合計画審議会に諮問するため、所要の改正を行うもの。
神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、町の条例の一部改正を行うもの。
神川町国民健康保険条例の一部を改正する条例	災害や国民健康保険法第59条の規定により療養の給付制限を受けている場合の納税義務者の申請手続きを現状に合わせるため、所要の改正を行うもの。
神川町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例	子ども・子育て支援新制度に移行しない私立幼稚園に対し国庫補助対象事業の変更が示されたため、所要の改正を行うもの。
神川町介護保険条例の一部を改正する条例	第6期介護保険事業計画の策定に伴い、第1号被保険者の見直し及び文言整理等のため、所要の改正を行うもの。
神川町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	埼玉県道路占用料徴収条例の改正に伴い、道路占用料の額改定を行うもの。
神川町都市公園条例の一部を改正する条例	都市公園での行為、占用等における使用料を定めるとともに、管理を指定管理者に行わせることができるよう、所要の改正を行うもの。
神川町下水道条例の一部を改正する条例	排水設備等の工事に係る指定について、本庄市及び児玉郡内において統一した規定とし、円滑な事業の実施を図るため、所要の改正を行うもの。
神川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	神川町水道事業、簡易水道事業、住居野飲料水供給施設の統合に伴い、所要の改正を行うもの。
神川町水道事業給水条例の一部を改正する条例	神川町水道事業、簡易水道事業、住居野飲料水供給施設の統合に伴い、所要の改正を行うもの。
神川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の施行により、班長及び団員の報酬額を引き上げ団員の処遇改善を行うため、所要の改正を行うもの。
神川町土地開発基金条例を廃止する条例	基金の設置目的である公共用地の先行取得の必要性が薄れ、今後の活用も見込まれないため、本基金条例を廃止するもの。
町道路線の廃止について	道路敷地の払い下げや道路の形態がない等の理由により11路線の町道を廃止するもの。
町道路線の認定について	独立行政法人水資源機構との調整が整い、ダム管理道を町道として認定するもの。
町道路線の変更について	現状民地を町道として認定している部分を、町道から外すため変更するもの。

※これらの審議結果につきましては、全員賛成により原案のとおり可決されました。

追加し、総額を66億4,350万3千円とするもの。	
○歳入に追加された主な項目	県支出金 187万円
繰入金 187万円	
○歳出に追加された主な項目	374万円
〈民生費〉	
○平成26年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
事業勘定	
歳入歳出それぞれ281万8千円を減額し総額を17億6,641万5千円とするもの。	
○歳入に追加(減額)された主な項目	
国庫支出金 825万8千円	
療養給付費交付金 131万6千円	
県支出金 1,485万7千円	
共同事業交付金 1,907万4千円	
繰入金 1億531万円	
繰越金 1億784万9千円	
○歳出に追加(減額)された主な項目	
保険給付費 1,127万円	
共同事業拠出金 1,408万8千円	
施設勘定	
歳入歳出それぞれ220万円を減額し総額を1億2,709万2千円とするもの。	
○歳入に追加された主な項目	
診療収入 670万円	
繰入金 475万4千円	
繰越金 895万4千円	
諸収入 30万円	
○歳出に追加された主な項目	
医業費	
▲220万円	
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決	
○平成26年度神川町介護保険特別会計補正予算(第3号)	
歳入歳出それぞれ1,721万7千円を追加し総額を9億5,790万6千円とするもの。	
○歳入に追加された主な項目	
保険料 37万円	
国庫支出金 19万円	
支払基金交付金 155万2千円	
県支出金 185万5千円	
繰入金 1,437万円	
○歳出に追加された主な項目	
総務費 318万6千円	
保険給付費 1,323万円	
基金積立金 80万1千円	
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決	
○平成26年度神川町観光事業特別会計補正予算(第4号)	
歳入歳出それぞれ108万7千円を追加し総額を6,578万円とするもの。	
○歳入に追加された主な項目	
事業収入 140万4千円	
繰入金 31万7千円	
○歳出に追加された項目	
事業費 108万7千円	
〔審議結果〕 全員賛成 原案可決	
○平成26年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	
歳入歳出それぞれ4,365万4千円を減額し総額を2億514万7千円とするもの。	
○歳入に追加(減額)された主な項目	

使用料及び手数料
国庫支出金 ▲1, 592万円
繰入金 ▲933万4千円
町債 ▲1, 900万円
○歳出に追加(減額)された主な項目
総務費 ▲70万円
事業費 ▲4, 295万4千円
〈審議結果〉全員賛成 原案可決

契約関係

○工事請負契約の変更について
神川中学校駐車場改修工事の当初請負金額5, 346万円を5, 551万2千円とするもの。
〈審議結果〉全員賛成 原案可決

陳情

◎総務経済常任委員会
件名 植竹地内町道4046号線道路整備等について

要旨 肥土と植竹を結ぶ生活道路の道路舗装整備
陳情者 肥土区長 中澤省三
植竹本区長 星野 勇
植竹第3区長 金井良平

〈審議結果〉採 択

件名 元阿保地内町道の舗装整備について
要旨 元阿保大観堂から東南に入る、未舗装道路の

陳情者 舗装のお願い
元阿保区長 磯野 徹
〈審議結果〉採 択

要望

◎文教厚生常任委員会

件名 スゴー運送(株)が計画する「産業廃棄物焼却処理施設」に対して反対をする要望書
要旨 建設予定地は一般住宅や公園、小学校、幼稚園などに近く環境面で問題があり、また、農家に与える影響も大きく、計画を撤回してほしい。

陳情者 神川町関係地域連絡協議会会長 岡泉 淳
〈審議結果〉採 択

決議

件名 児玉工業団地内に産業廃棄物処理施設を建設することに反対する決議
要旨 ダイオキシンの有害物質により環境破壊や人体への影響が心配され、関係地域住民からも建設反対の意見が数多く出されており、議会としても反対するもの。

議会日誌

1月



5日 定例全員協議会
9日 こだま青年会議所名刺交換会
11日 成人式
13日 国道462号県要望
14日 県と町村議長会懇談会
15日 青柳保育所地域交流会
17日 丹荘保育所地域交流会
18日 2分の1成人式
20日 かみかわ駅伝大会
25日 町村会賀詞交歓会
28日 ふれあいコンサート
" 商工会新年会
" 議会運営委員会

2月



2日 定例全員協議会
4日 児玉郡議会議員後期研修会(上里町)
6日 本庄法人会神川支部研修会
10日 町村長・正副議長合同研修会
13日 児玉工業団地賀詞交歓会

3月



16日 広域議会
18日 健康増進計画検討委員会
19日 国保運営協議会
20日 議会運営委員会
22日 法人会神川支部チャリティコンサート
26日 県議長会総会
27日 定例全員協議会

3日 第1回定例会(開会、一般質問)
5日 第1回定例会(議案説明)
9日 総務経済常任委員会
11日 文教厚生常任委員会
12日 第1回定例会(議案説明質疑討論採決)
13日 神川中学校卒業式
17日 コミ協視察研修
18日 社会福祉協議会理事会
19日 地域審議会
20日 かなな福祉専門学校卒業式
23日 畜産振興協議会設立総会
24日 神川幼稚園卒園式
26日 丹荘・青柳・渡瀬・神泉小学校卒業式
27日 広域圏議会
丹荘保育所 青柳保育所卒園式

お疲れさまでした

今回の改選により7名の議員の皆様がご勇退されました。今までのご尽力に心から感謝申し上げます。